

## H27 教育関係要望項目

東京都教育庁におかれましては、日頃よりLD等発達障害児・者へのご支援をいただき誠にありがとうございます。私ども東京LD親の会連絡会では、教育庁と福祉保健局との連携をより進めていただき、一人ひとりの児童生徒への一貫した支援体制を希望しております。

今後とも更なるご支援を期待し、以下の通り要望しますので、ご回答よろしく申し上げます。

### 1. 特別支援教室

- (1) 特別支援教室のガイドラインを作成してください。現状の通級制度より、支援の質の低下をまねいたり、地域格差が生じないようにしてください。
- (2) 特別支援教室は平成28年度より小学校から順次導入となっておりますが、現時点での進捗状況をお聞かせください。
- (3) 小集団によるソーシャルスキルトレーニングは社会性やコミュニケーションに課題を持つLD等発達障害のある子どもにも必要不可欠なものです。特別支援教室では実施されないのでしょうか。何らかの方法で実施してください。
- (4) 特別支援教室専門員は具体的にはどのような事を行うのでしょうか。また、どのように募集採用するのでしょうか。

### 2. 教育と福祉の連携

- (1) 東京都発達障害者支援センターによる区市町村相談支援実施状況のまとめを見ると、教育課程を終えた後の20～30才代の相談が半数近くを占め、彼らの多くがニートや引きこもり状態、在宅などになっており、教育と福祉の連携がうまくいっていない現状が推測されます。学校教育から社会への移行支援がスムーズに行われるようにしてください。現在、青年期の人に対して東京都独自での取り組みがあれば、お聞かせください。
- (2) 都立普通高校を卒業して進路が決まらなかった発達障害の生徒(大学浪人以外)への支援はどう行われているのでしょうか。必要な生徒には若者サポートステーションや若年コミュニケーション能力要支援者就職プログラム(若コミ)の紹介など、福祉や労働に繋げて下さい。また、高校の教員や進路指導担当者にそのような情報を伝えて下さい。
- (3) 首都大学東京に入学した発達障害のある学生への支援は行われているのでしょうか。お聞かせください。
- (4) 「特別支援教育コーディネーター」とハローワークの「就職支援ナビゲーター」とが連携して、教育から福祉や労働へスムーズに移行できる仕組みを構築して下さい。

### 3. 合理的配慮

- (1) 電子黒板、タブレット、電子教科書、読み上げソフトなどの支援ツールの導入や使用について、合理的配慮の面から東京都はどのようなご見解でしょうか。タブレットなどを個人的に使用したい時に、現場での理解がなかなか得られないと聞きます。
- (2) 学校でのピクトグラムの導入をお願いします。LD等発達障害児の読み書きが苦手な子どもや、空間認知が苦手な子どもたちが校内でスムーズに移動できるように教室・その他の専科の教室、トイレ等、文字だけではなく見てすぐ判断できるように環境を整備してください。

## 4. 教職員

---

- (1) LD 等発達障害児には教職員の少しの理解があればずいぶんと救われる子どもたちが存在します。理解のある教員とそうでない教員がまだ混在している現状では、子どもたちにとって良い学習環境とは言えません。一人でも多くの教職員に現場で対応できるような具体的な支援技術を獲得していただき、教員の質の向上を図り、「今年の担任はハズレだった」などと保護者に言わせないようにしてください。
- (2) 財務省は子どもの減少に伴い教員の数を減らそうと検討しているようですが、学校現場では発達障害児への対応、いじめ、不登校等、問題は山積しています。さらに教員は忙しすぎるという現状の中、これ以上教員数を減らさないでください。また、東京都はどの様にお考えなのか、お聞かせください。
- (3) LD 等発達障害児はいじめの対象になりやすく、さまざまな原因で不登校になりやすいと言われています。教職員に対して、個々の児童生徒の状態にしっかり向き合うように指導を徹底してください。
- (4) 教職員に対しては、保護者とよく連絡をとり、児童生徒の理解に繋げるよう指導してください。

## 5. 発達障害者支援ハンドブック 2015

---

- (1) 東京都福祉保健局発行の「発達障害者支援ハンドブック 2015」は都内全ての公立学校に配布されているのでしょうか。学校教育の現場でも大変参考になるすばらしい資料ですので、ぜひ各学校で有効に活用されるように配布・指導してください。

## 6. その他

---

- (1) 国がスクールカウンセラーを常勤にする方針を発表した事について、東京都の対応をお聞かせください。
- (2) 東京都教育庁主催のシンポジウムや研修会に親も参加できるようにしてください。保護者もぜひ一緒に参加させていただきスキルアップを図りたく、研修会等の情報をご開示ください。東京 LD 親の会連絡会としても、会員への周知を更に図り、都教委との連携をとる体制を整えますので、通知をお願いします。

以上